

香川高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	数学 I C	
科目基礎情報							
科目番号	191008			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	建設環境工学科 (2019年度以降入学者)			対象学年	1		
開設期	後期			週時間数	4		
教科書/教材	東京書籍「新編数学Ⅱ」「アシストセレクトⅡ」, 「ニューアクションベーシックⅡ + B」						
担当教員	佐藤 文敏,橋本 史雄						
到達目標							
1. 直線と円を中心に, 図形と式の関係に関する基本的な問題を解くことができる。 2. 三角関数のグラフ, 加法定理などの基本を理解し, 基礎的な応用ができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安(優)			標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)	
評価項目1	直線と円を中心に, 図形と式の関係や三角形の三心に関する問題を解くことができる。			直線と円を中心に, 図形と式の関係に関する基本的な問題を解くことができる。		直線と円を中心に, 図形と式の関係に関する基本的な問題を解くことができない。	
評価項目2	三角関数のグラフ, 加法定理などを理解し, 応用できる。			三角関数のグラフ, 加法定理などの基本を理解し, 基礎的な応用ができる。		三角関数のグラフ, 加法定理などの基本を理解し, 基礎的な応用ができない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 B-1							
教育方法等							
概要	図形と方程式, 三角関数について学習する						
授業の進め方・方法	教科書に沿って講義をする。基本事項と例題を解説した後, 問題演習を行う。適宜, 提出課題などを課す。						
注意点	数学は積み重ねの科目なので, 授業で理解できなかったことは放置せずしっかり復習をして理解すること。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	図形と方程式		数直線上および座標平面上の距離, 内分点の座標を求められる。直線の方程式を理解し, 問題が解ける。いろいろな形の直線の方程式を理解し, 基本的な計算ができる。直線の平行条件・垂直条件を理解し, 問題が解ける。		
		2週	図形と方程式		円の方程式の基本的な計算ができる。円と直線の関係について基本的な問題が解ける。		
		3週	図形と方程式		軌跡の概念を理解し, その方程式が求められる。		
		4週	図形と方程式 試験		中間試	不等式と領域の基本的な問題が解ける。	
		5週	三角関数		一般角の三角関数の相互関係を理解し, その基本的な応用ができる。三角関数の相互関係を理解し, 基本的な応用ができる。		
		6週	三角関数		sin, cos, tanのグラフが描ける。三角関数のやや応用的なグラフが描ける。		
		7週	三角関数		三角関数を含む方程式・不等式の基本的なものが解ける。加法定理の形を覚え, 2倍角・半角の公式, 三角関数の合成を応用する問題ができる。		
		8週	試験				
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
		試験	課題			合計	
総合評価割合		90	10			100	
中間試験まで(図形と方程式)		45	5			50	
期末試験まで(三角関数)		45	5			50	